

ヒュウガプランニングサポーター 足跡

はじめに

ヒュウガプランニングサポーター（以下「サポーター」という）とは、伝統文化の継承やこれから歴史を刻もうとする地域文化の発展の一端を担う公益財団法人日向文化振興事業団（以下、「財団」という）の自主文化事業に様々な形で参加することをはじめとし、芸術文化に触れる喜びを分かちあう仲間として、また、それを楽しむ人々をささやかながら支えていく仲間として集い、楽しく気軽に地域文化を考え、活動する会として設立する。

つまり、サポーターは「イベントが好きな人」「イベントを企画してみたい人」「日向市の文化の発展に貢献したい人」たちが集まった会である。

サポーター活動記録

	年 月 日	活 動 内 容	会 場 来 場 者 数
1999年	12月9日	財団の呼びかけで「ヒュウガプランニングサポーター」が設立される。 *財団の呼びかけに6名の市民の方が賛同し、サポーターの活動が開始される。	
2000年	5月19日	サポーター企画の『春夏秋冬(あきない)むかしばなし』を開催。 *サポーター初の企画事業。	小ホール 約100名
	8月27日	財団主催の『日向市文化交流センター夏祭り』にサポーターが協力参加。 *出店を市民から募集し、数多くの出店が集まった。来場者にも大好評。	交流広場 約600名
	12月25日	サポーター主催・企画の『たのしいクリスマス会』を開催。 *小中学生を対象にし、様々な内容のプログラムや子供たちにはプレゼント等も用意。集まった入場金は全て(財)デイリー健康福祉事業団と日向市社会福祉協議会に寄付する。	小ホール 約200名
2001年	1月28日	財団主催の『アーティストフェスタ』にサポーターが協力参加。 *ライブハウスの無かった日向市で、日向市文化交流センターが唯一の開催場所だったため、出演者も参加者にも大好評。	小ホール 約200名
	7月8日	サポーター企画・財団主催の『カントリーミュージックin日向』を開催。 *半年にも及ぶ企画・議論の末、ようやく実現。サポーター企画に関しては、初のビッグイベント。この大イベントの成功により、これからの活動に大きな自信を持つ。	大ホール 約800名
2002年	8月4日	サポーター企画・財団主催の『第一回カルチベートコンサート』を開催。 *地元日向市の合唱団を招いてのコンサート。普段あまり発表の機会がなかった出演者たちには絶好の場となる。	小ホール 約200名

2003年	3月22日	財団主催の『アーティストフェスタ』にサポーターも2年連続協力参加。 *日向の若者にとって、年に1度の待ち遠しいイベント。	小ホール 約200名
	8月23日～9月2日	日向市主催の『日向市美術展覧会』にサポーターが協力参加。 *1週間以上もの間、会員1人1人交代で受付等を担当。搬入・搬出の手伝いもし、日向市の文化に大きく貢献。	
	10月11日	『日向市民観月会』にサポーターが協力参加。 *観月会のような邦楽関連の事業にも積極的に参加。	交流広場 約300名
	5月9～31日	サポーター主催『ちぐさかの子作品展』を開催。 *素晴らしい才能を持っていながら、今まで発表の場の機会に恵まれずにいた地元日向のちぐさかの子さん（本名：河野千穂）が書いた絵やコラム等の個展を開いて、日向の方々に見てもらおうということでサポーターが開催。 その後、この個展をきっかけに財団の情報誌「カルチベート」に4コマ漫画を毎月掲載。	ロビー 約500名
	6月5～14日	『写団日向写真グループ 写真展』をサポーターが協力参加。 *写団日向写真グループからサポーターへ協力要請があり、受ける。	ロビー 約300名
	6月15～28日	サポーター主催『黒木弥生個展』を開催。 *宮崎県美術展覧会書道の部で大賞を受賞した、黒木弥生さんの書を日向の方々にも見てもらおうということで開催。美術館の無い日向で、会館のロビーが唯一の個展会場ということもあり、たくさんのお客様にご来場いただいた。	ロビー 約500名
	7月17～29日	サポーター主催『芝行則作品展』を開催。 *日向で木工場を営み、東急ハンズ主催(全国規模)の作品展にて2度も受賞し、プロの審査委員にも認められるほどの技術を持つ芝行則さんの木工作品を日向の方々にも見てもらおうということで開催。日向の美しい山や海などをモチーフにした作品は来場者にも感動を与えた。	ロビー 500名

2004年	<p>7月27日 財団主催の『BEGINコンサート』にサポーターが協力参加。 *主催、裏方、来場者共に1つになれた良いコンサートとなった。</p> <p>8月29日 サポーター企画・主管、財団主催で『スイングジャズオーケストラ』を開催。 *1年間にも及ぶ企画・議論の末、ようやく実現。(未成年で)日本一のジャズオーケストラと言われる鹿児島県の玉江小学校の子ども達「リトルチェリーズ玉江」を招いての開催。 開演前には、日向の中学校の子ども達を招き、リトルチェリーズとの交流会も開催。互いに良い経験・刺激となり、日向の子ども達の文化の向上に大きく貢献した。本番日は台風接近にも関わらず800名以上のお客様にご来場いただいた。</p> <p>8月31日～9月13日 NHK主催の『大河ドラマ 新選組! パネル展』にサポーターが協力参加。 *日本各地で行ったパネル展の中でも、日向開催が1番の来場者となった。</p> <p>10月 社団法人全国公立文化施設協会が作成した「公立文化会館のマーケティング戦略」に財団とサポーターが大きく取り上げられる。 *今まで地道に活動してきた事が全国に認められ、記事になる。</p> <p>10月6日 財団主催の『チェンミン二胡ライブ』にサポーターが協力参加。 *チケット販売に苦戦するも、サポーターの協力もあり、販売数も目標近くまで到達する。</p>	<p>大ホール 1,500名</p> <p>大ホール 約800名</p> <p>小ホール 約5,000名</p> <p>大ホール 650名</p>
2005年	<p>1月30日 市民劇団ハックの旗揚げ公演にサポーターが協力参加。 *すべてが初めての劇団員に、経験豊富なサポーターが裏方としてサポートする。</p>	<p>中央公民館 400名</p>
6年	<p>6月4日 『第1回ヒュウガプランニングサポーター寄席 春風亭柳之助 真打ち披露日向公演』開催。自由席 2,000円(弁当お茶付き)</p>	<p>小ホール 約120名</p>

200	11月11日	こども文化教室噺家入門 開始 柱大黒氏が講師となり、日向の小中学生に落語の楽しさを教える。	
2007年	1月13日	『第2回ヒュウガプランニングサポーター寄席 ゆうきの出る会 in 日向』開催。自由席 2,000円 (弁当お茶付き)	小ホール 約120名
	9月1日	財団、プランニングサポーター共同企画『柳太郎の会 in とうごう』 自由席 大人1,000円 学生500円 (弁当お茶付き) *初の東郷出前寄席にて満員御礼。	日向市東郷 西公民館 (さくら館) 約130名
2008年	1月14日	サポーター共催『新春ひむか寄席 桂歌春親子会』 自由席 大人2,000円 学生1,000円	小ホール 260名 満員御礼
	8月30日	『第3回ヒュウガプランニングサポーター寄席 日向ひまわりの会』開催。 自由席 1,500円 こども(小学生)500円	小ホール 約150名
2009年	6月20日	ひむかこども落語会『第1回紅白落語合戦』をひむかこども落語会と共催。 入場無料	和室 約40名
	10月11日	『日向市文化交流センター感謝祭』を財団と共催。 日向市文化交流センターを日頃より利用していただいています市民の皆様へのお礼を込めた感謝還元イベント。 *ステージでは、熱の入った演奏やダンスが繰り広げられ、お楽しみ抽選会と餅まきには多くの人々が集まった。	小ホール 約150名 交流広場 約400名
2010年	4月29日	『第31回日向市美術展覧会 お花でお出迎え事業』を主催。 *交流広場にてプランターの花飾りを装飾し、市美展来場者を花によって歓迎した。交流広場が華やぎ、文字通り花を添える形となった。	交流広場

2011年

4月29日～5月5日

『第32回日向市美術展覧会 お花でお出迎え事業』を主催。
*交流広場にてプランターの花飾りを装飾し、市美展来場者を花によって歓迎した。

『イラストレーター上杉忠弘特別展 in ひゅうが』を主催。
*市美展の特別展として小ホールにてイラストレーターの上杉忠弘さんの個展を行った。上杉さんによるトーク&ライブも行い、過去の市美展来場者数の最高動員数となり、大盛況となった。個展を成功に収めるよう企画立案、裏方業務を取り仕切った。

[上杉忠弘 略歴]
東京を拠点にイラストレーターとして活躍し、企業広告や書籍、雑誌の表紙等を手掛けている。2009年に公開されたアニメ映画「コララインとボタンの魔女3D」では、コンセプトアートを担当し、アニメ界世界最高峰の「第37回アニー賞最優秀美術賞」を受賞。この部門での日本人受賞者は初。

交流広場

小ホール

10月23日

『古澤巖ヴァイオリンコンサート“龍神伝説”』
*プランニングサポーターが「日向・古澤巖の会」を立ち上げる。ヴァイオリニストである古澤巖さんを宮崎県日向市から応援することを目的とする。
チケットは完売し、大御神社の幻想的な空間も相まって大成功に終わった。

[古澤巖 略歴]
日本を代表するヴァイオリン奏者。桐朋学園大学で江藤俊哉、カーティス音楽院でアロン・ローザンド、ナタン・ミルシテインらに師事。1988年から4年間、東京都交響楽団のソロ・コンサートマスターを務める。現在、クラシック音楽のジャンルにこだわらない活動を行っている。

大御神社

1月29日

『第4回ヒュウガプランニングサポーター寄席～新春夢花寄席～』を主催。
*三笑亭夢花さんを迎えて寄席を行った。柱大黒さんをはじめ、地元演芸者やこども落語の子ども達も日ごろの鍛錬の成果を発表した。プランニングサポーターがお茶やお菓子を用意し、お出迎えを行った。

小ホール
65名

2012年	4月28日～5月4日	『第33回日向市美術展覧会』の協力参加。 *プランニングサポーターによるウェルカムガーデンを行った。1年間、ハンギングバスケットで花を育て、交流広場にて市美展を彩った。 また、だっでんどっでん出してみろかい展の事務、運営をサポートした。	アリーナ 交流広場 1,920名
	7月28～29日	『第4回こども落語全国大会』協力参加。運営に従事した。	小ホール 大ホール のべ1,600名
	8月6～8日	『古澤巖の石神山ミュージックキャンプ』の運営、設営に従事した。 ヴァイオリニスト古澤巖さんを講師に迎え、ミュージックキャンプを行った。	美々津 田の原分校 受講者7名 聴講者60名
	10月28日	『LIVE UNDER THE TREE 大御神社“龍神伝説”古澤巖ヴァイオリンコンサート』の企画、運営に従事した。 ヴァイオリニスト古澤巖さんを迎え、コンサートを行った。キーボード奏者に阿陪篤志氏出演。	大御神社 約500名
2013年	4月21～29日	『第34回日向市美術展覧会』協力参加。 *プランニングサポーターによるウェルカムガーデンを行った。1年間、ハンギングバスケットで花を育て、交流広場にて市美展を彩った。 また、だっでんどっでん出してみろかい展の事務、運営をサポートした。	大ホール 交流広場 2,109名
	8月19～21日	『古澤巖の石神山ミュージックキャンプ』の運営、設営に従事した。 *ヴァイオリニスト古澤巖さんを迎えて、楽器の指導を行った。受講生にはヴァイオリンの他、トランペット、声楽等多様な音楽家たちが集った。	受講生10名 聴講生40名
	10月27日	『LIVE UNDER THE TREE 大御神社“龍神伝説”古澤巖ヴァイオリンコンサート』の企画、運営に従事した。 *ヴァイオリニスト古澤巖さんを迎え、コンサートを行った。キーボード奏者に寺田志保氏を迎えた。また、「おもてなし」として甘酒を振る舞った。	大御神社 511名

2014年	4月19日～27日	『第35回日向市美術展覧会』協力参加。 *プランニングサポーターによるウェルカムガーデンを行った。1年間、ハンギングバスケットで花を育て、交流広場にて市美展を彩った。 また、アンデパンダン展（だっでんどっでん出してみろかい展）の事務、運営をサポートした。	大ホール 交流広場 1,954名
	7月26日～27日	『第6回こども落語全国大会』協力参加。運営に従事した。	小ホール 大ホール のべ1,500名
	8月21日～23日	『古澤巖の石神山ミュージックキャンプ』の運営、設営に従事した。 *ヴァイオリニスト古澤巖さんを迎えて、楽器の指導を行った。	受講生14名 聴講生22名
	10月28日	『LIVE UNDER THE TREE 大御神社“龍神伝説”古澤巖ヴァイオリンコンサート』の企画、運営に従事した。 *ヴァイオリニスト古澤巖さんを迎え、コンサートを行った。	大御神社 500名
2015年	4月18日～26日	『第36回日向市美術展覧会』協力参加。 *プランニングサポーターによるウェルカムガーデンを行った。1年間、ハンギングバスケットで花を育て、交流広場にて市美展を彩った。 また、アンデパンダン展（だっでんどっでん出してみろかい展）の事務、運営をサポートした。	大ホール 交流広場 2,196名
	7月25日～26日	『第7回こども落語全国大会』協力参加。運営に従事した。	小ホール 大ホール のべ1,600名
	8月18日～20日	『古澤巖の石神山ミュージックキャンプ』の運営、設営に従事した。 *ヴァイオリニスト古澤巖さんを迎えて、楽器の指導を行った。	受講生17名 聴講生17名

	10月25日	『古澤巖×はたけやま裕×KEIKO 大御神社“龍神伝説”2015 古澤巖ヴァイオリンコンサート』の企画、運営に従事した。 *ヴァイオリニスト古澤巖さんを迎え、コンサートを行った。	大御神社 600名
	11月6日～30日	『畑靖子 Yasuko Design ロビー展』を主催。 *日向市在住のイラストレーター畑靖子さんのロビー作品展の展示イベントを行った。	ロビー
2016年	3月10日	財団主催の『古澤巖タイフーンカルテット』にて運営協力。 *チケットの販売に大きく貢献し、当日の受付、CDの販売、来年度のコンサートチケット販売などコンサートの運営に携わった。	日向市 中央公民館 450名
	4月16日～24日	『第37回日向市美術展覧会』協力参加。 *プランニングサポーターによるウェルカムガーデンを行った。1年間、ハンギングバスケットで花を育て、交流広場にて市美展を彩った。 また、アンデパンダン展（だっでんどっでん出してみろかい展）の展示から受付・搬出サポートを行い、審査時の手伝いなどの市美展実行委員で携われない内容の手伝いなど、多くのサポートを行った。	大ホール 交流広場 1,698名